

# れんごう中越地協

第1019号2019.11.11  
連合中越地域協議会  
長岡市東蔵王2-2-68  
TEL 0258-24-0515  
FAX 0258-24-8930  
発行人 矢島 良彦  
定価 1部10円  
購読料は会費を含む



長岡地区労働者福祉協議会がライフプランセミナー開く

## 子どもの貧困の現状や課題を学ぶ

市内外で支援事業に関わる人など100名が参加



長岡地区労働者福祉協議会(矢島会長)が主催する「子どもの貧困現状と課題」が、ライフプランセミナーとして長岡市、長岡市教育委員会、(一財)新潟ろうきん福祉財団、新潟県労働者福祉協議会から後援を受け、10月7日(月)午後6時15分

この調査による長岡市の相対的貧困率は、14.1%。日本財団の調査によると、子どもの貧困を放置した場合、わずか1学年あたりでも経済損失は約2.9兆円に達し、政府の財政負担は1.1兆円増加するという推計結果が出されている。



この調査によると、子どもの貧困を放置した場合、わずか1学年あたりでも経済損失は約2.9兆円に達し、政府の財政負担は1.1兆円増加するという推計結果が出されている。

説明された項目は、「子ども食堂」。全国では、12年の発足以降急速に増え、18年には2286箇所、19年6月には全ての道府県に少なくとも3718箇所あり、1年で1.6倍に増えたと言明。また、貧困の捉え方としての「絶対的貧困」「相対的貧困」や、相対的貧困率の推移などを説明された。

矢島議長は幹事会に「台風で大きな被害が発生し、お見舞い申し上げます。連合としてもボランティアの姿勢を持っていきたい。連合本部大会に出席した。政党的分断は由々しき問題で変えていかなければ」との意見を述べた。

## 定期総会議案について協議を行う

第12回地協幹事会開く

連合中越地協第12回幹事会が、10月18日(金)午後6時30分(10月19日)から十日町市のベルナティオで行われた。

連合本部大会に出席した。政党的分断は由々しき問題で変えていかなければ」との意見を述べた。



連合新潟第29回定期大会代議員の確認、当面の諸活動。各支部の総会議案について協議した。最初に、議案書の構成を例年通りとする

先日、地区の農業まつりに参加した。例年この時期に行っており、今年で26回目となった。似たような農業祭が各地で行われているが、我々の地域も「地域の活性化」を目的にこのまつりを

減った。以前は葱、大根、白菜、里芋、じゃがいも、キャベツ、食用菊、小豆等の豆類、椎茸、銀杏、南瓜等の地物があつたが、自然薯とヤーコン、銀杏と栗が目に入ったくらいで、JAの品物が主に代わり寂しい思いがした。当然地区にお金も落ちない。▼我々の団体は初回から加わっている。今年も、野菜11種と餅を入れた大鍋で約200食の販売と米俵(模造品)を重そうに担ぐレースを行った▼こんな具合で26年続けてきたが、いよいよ財源等の心配が出てきた。当初から資金を生み出す計画があまかつたと思う。県財政も危機的状況というが、単に止めま



事務局長 小林 守

議案を協議決定した。連合中越地協第29回定期総会は、11月21日(木)午後3時から長岡グランドホテルで開催する。各代議員の活発な討議を期待したい。

次に、第29回定期総会議案について協議した。最初に、議案書の構成を例年通りとする。各支部の役員体制や主な活動等を協議決定し、1日目の協議を終えた。20時からは、十日町支部役員との意見交換を行い、地域の状況や課題等に話を弾ませ有意義な意見交換会となった。

サラリーマン川柳(老後にと 貯金使わぬ 父70)(非常食 蓄え過ぎた 下っ腹)(小遣いを 減らした言い訳「消費税」)(誰やるの 炊事洗濯 僕でしょう)

サラリーマン川柳 (おいスマホ オレの指先 感じぬか) (裏金も 表の金も 妻のもの) (子の宿題 難しくなり「自己責任」) (追い焚きをしたらパパだけ 怒られて)

# 奨学金の返済で悩んでいませんか?



## 奨学金に関する電話相談

お気軽に  
お電話  
ください

2019年 **11/30** (土) 10:00~15:00

**TEL 025-281-0910**

一人で悩まず、まずはご相談ください

実施：一般社団法人/新潟県労働者福祉協議会 <https://www.niigataken-rofukukyo.com/>  
新潟県奨学金問題ネットワーク設立準備室

# 連合小千谷支部だより

10/12(土) に連合小千谷支部と小千谷地区労福協の合同で開催しました、「ライフプランセミナー」「クリーン作戦」について報告致します。

会場となる「小千谷市楽集館」には総勢72名の組合員と家族の方にご参加頂きました。当日は台風19号の接近が迫るなかでの開催となりました。第一部の「クリーン活動」は悪天候により実施できませんでしたが、第二部のセミナーとして、新潟NPO協会 代表理事 石本貴之様から「SDGs (持続可能な開発目標)」をテーマにし、その取り組み内容についての講演をして頂きました。講演終了後は、労金小千谷支店長 近藤 正彦様から労金の各種ローン紹介と労金ローンのメリット等についてPRして頂きました。

第三部は例年昼食会として、お弁当とトン汁を食べていましたが、当日の天候から早めに帰宅して頂くことを考慮し、お弁当はお持ち帰り頂きトン汁を食べながら、豪華賞品を争うじゃんけん大会を行いました。

今年度の労福協の活動はこれで終わりとなりますが小千谷支部では来年度も様々な活動を行っていきますので多くの組合員の皆様の参加をお願い致します。



### 働き方を見直して、 こころとからだを健康に

## 過労死等 ゼロに向けて

11月は過労死等防止啓発月間 / 日本労働組合総連合会(連合)

**「過労死等」とは?**

- 業務における過重な負荷による脳血管疾患・心臓疾患を原因とする死亡
- 業務における強い心理的負荷による精神障害を原因とする自殺による死亡
- これらの脳血管疾患・心臓疾患、精神障害

※過労死等防止対策推進法の定義

過労死・過労自殺は、  
毎年約**200**件も  
認定されています。

原因となる長時間労働をなくし、  
働く人の心身の負担を軽く  
することが大切です!

※厚生労働省「政府改革の労務環境改善」

### 長時間労働を是正し、 安心して健やかに働くことのできる職場環境をつくらう

「働き方改革」によって、時間外労働の上限規制が導入され、勤務間インターバルの確保も努力義務となります。さらに、ハラスメント対策も強化されます。安心して健康に働くことができる環境をつくることは、労働組合の大切な役割です。以下を参考に、職場での取り組みを進めましょう。



#### 労働時間を しっかり把握しよう

労働時間を客観的に把握することで、長時間労働を減らすことが大切です。タイムカードやICカード、パソコンの使用記録などで把握・管理するしくみをつくりましょう。



#### 勤務間インターバル制度を 取り入れよう

健康に働くためには、生活や睡眠の時間を確保することが重要です。残業から始業までの間に一定以上の休息時間を設ける勤務間インターバル制度を導入しましょう。



#### ハラスメントのない 職場にしよう

こころを健やかに保つためには、ハラスメントをなくさなければなりません。職場環境、相談体制の整備、周知などに取り組みましょう。

## 働き方、 こころとからだを ✓チェックしてみよう

あなた自身や職場の仲間、ご家族のこころとからだに不調があったら、むりをせず、休みと睡眠をしっかり取ることが大切です。この機会に、職場での働き方、こころとからだをチェックしてみましょう。

あなたの結果はいかがですか。

こころとからだ、働き方に問題があるときは、  
**労働組合や職場の仲間、  
産業医や心療内科などの先生に  
相談してみましょう。**

厚生労働省の「働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト・こころの耳」もチェック!

働く人のこころの耳 <https://kokoro.mhlw.go.jp>

### あてはまることはありませんか? / ストレスの原因となる事例

- 長時間労働が続いている
- 仕事の内容や役割が大きく変わった
- 仕事で大きな失敗をしてしまい責任を問われた
- 休日にも仕事に出かけることが多い
- 周囲に相談相手がいない
- 家族のことや金銭問題などの悩みを抱えている
- ハラスメントを受けている

### あてはまることはありませんか? / メンタル不調時に現れやすい様子の事例

- 遅刻や早退が増えた
- 月曜日(休日明け)に休むことがある
- 最近、仕事の締切に遅れることが多い
- 朝からお酒良いことがある
- 顔色や表情がさえない
- 食べる量が減った、食欲がなさそう
- 居眠りが多い、寝れない・夜中に目が覚める
- 急におしゃべりになった
- ふざざざんでいることが多い